

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 3 月 11 日 (2021.3.11)

【公開番号】特開 2020-142156 (P2020-142156A)
 【公開日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-037
 【出願番号】特願 2020-102754 (P2020-102754)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 22 日 (2021.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤と、

遊技盤に設けられる遊技領域と、

遊技球が入球可能であり、遊技球が入球することにより賞球が付与される複数の入賞口と、

情報を表示可能な情報表示部と、

遊技領域から排出された遊技球を検出する排出検出部と

を備え、

データを記憶可能な記憶手段と、

前記複数の入賞口への遊技球の入球を検出し得る入球判定手段と、

排出検出部における検出数を計数する排出計数手段と

を備え、

入球判定手段による検出結果に基づき、前記複数の入賞口への遊技球の入球に基づく情報である入球状態情報を生成し、当該生成した入球状態情報を情報表示部にて表示し得るよう構成されており、

前記入球状態情報を、表示内容が異なる複数の項目に分けて表示可能であり、

情報表示部に入球状態情報を表示する際は、所定期間毎に前記複数の項目に対応する入球状態情報を切り替えて表示するとともに、各項目を示唆する情報を入球状態情報と同時に表示するよう構成され、

前記記憶手段として、ROM と RAM を有し、

前記 ROM 内の領域として、遊技の進行に関わる第 1 ROM 領域と遊技の進行に関わらない第 2 ROM 領域とがあり、前記第 1 ROM 領域と前記第 2 ROM 領域との間には所定の未使用領域が設けられており、

前記 RAM 内の領域として、前記第 1 ROM 領域における処理に関する情報を記憶する第 1 RAM 領域と前記第 2 ROM 領域における処理に関する情報を記憶する第 2 RAM 領域とがあり、前記第 1 RAM 領域と前記第 2 RAM 領域との間には所定の未使用領域が設けられており、前記第 1 RAM 領域として、第 1 作業領域と第 1 スタック領域とがあり、前記第 1 作業領域と前記第 1 スタック領域との間には所定の未使用領域が設けられており

、前記第2 R A M領域として、第2作業領域と第2スタック領域とがあり、前記第2作業領域と前記第2スタック領域との間には所定の未使用領域が設けられており、

前記入球状態情報は、前記第2 R O M領域における処理によって前記第2 R A M領域を用いて算出され、

入球状態情報が所定値を超過している場合には、入球状態情報の表示態様を通常とは異なる表示態様にて情報表示部に表示し、

排出計数手段による検出数が特定数に満たない場合には、各項目を示唆する情報を通常とは異なる表示態様にて情報表示部に表示する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本態様に係るぱちんこ遊技機は、遊技盤と、遊技盤に設けられる遊技領域と、遊技球が入球可能であり、遊技球が入球することにより賞球が付与される複数の入賞口と、情報を表示可能な情報表示部と、遊技領域から排出された遊技球を検出する排出検出部とを備え、データを記憶可能な記憶手段と、前記複数の入賞口への遊技球の入球を検出し得る入球判定手段と、排出検出部における検出数を計数する排出計数手段とを備え、入球判定手段による検出結果に基づき、前記複数の入賞口への遊技球の入球に基づく情報である入球状態情報を生成し、当該生成した入球状態情報を情報表示部にて表示し得るよう構成されており、前記入球状態情報を、表示内容が異なる複数の項目に分けて表示可能であり、情報表示部に入球状態情報を表示する際は、所定期間毎に前記複数の項目に対応する入球状態情報を切り替えて表示するとともに、各項目を示唆する情報を入球状態情報と同時に表示するよう構成され、前記記憶手段として、R O MとR A Mを有し、前記R O M内の領域として、遊技の進行に関わる第1 R O M領域と遊技の進行に関わらない第2 R O M領域とがあり、前記第1 R O M領域と前記第2 R O M領域との間には所定の未使用領域が設けられており、前記R A M内の領域として、前記第1 R O M領域における処理に関する情報を記憶する第1 R A M領域と前記第2 R O M領域における処理に関する情報を記憶する第2 R A M領域とがあり、前記第1 R A M領域と前記第2 R A M領域との間には所定の未使用領域が設けられており、前記第1 R A M領域として、第1作業領域と第1スタック領域とがあり、前記第1作業領域と前記第1スタック領域との間には所定の未使用領域が設けられており、前記第2 R A M領域として、第2作業領域と第2スタック領域とがあり、前記第2作業領域と前記第2スタック領域との間には所定の未使用領域が設けられており、前記入球状態情報は、前記第2 R O M領域における処理によって前記第2 R A M領域を用いて算出され、入球状態情報が所定値を超過している場合には、入球状態情報の表示態様を通常とは異なる表示態様にて情報表示部に表示し、排出計数手段による検出数が特定数に満たない場合には、各項目を示唆する情報を通常とは異なる表示態様にて情報表示部に表示することを特徴とする。